

新刊案内



むすんでひらいて 編みなおして

—関係づくりを育む子育て支援—

2007年3月発行 A5判 40頁 / 定価:500円(税込) 送料100円(1冊)

□子どもの成長・発達において、近年特に、人間関係力の形成について危機感を抱く声が高まっています。本財団では、平成18年度独立行政法人福祉医療機構「子育て支援基金」の助成を受け、「人とかかわり」をキーワードに、その力を育む環境整備に向けた視点や方法を、教育・保育・臨床心理の専門家および実践関係者等で構成した資料作成委員会において研究討議し、子育て支援者へ向けた学習資料としてまとめました。

□冊子は、特に人間関係力形成の基礎となる乳幼児期から学童期の子どもの念頭に現状の問題点や課題を分析し、子育て支援者に求められる「関係づくりの視点」を具体的に提示する内容です。なお、冊子のダイジェスト版(A4判、4頁)も作成しました。

冊子の特徴

- ◆「人とかかわり」というキーワードから子育ての現状と課題を探り、「関係づくり」を育む子育て支援のあり方を考える冊子です。
- ◆イラストで描いた10の場面で、関係から見た子ども・おとな・親子の現状を具体的に提示。
- ◆3つの解説・7つのコラム・3つの事例を組み合わせ、どのページから読んでも「関係づくり」を考える手がかりが得られる、読みやすい構成。
- ◆子育て支援者の養成や研修を目的とする講座をはじめとして、子育てグループの学習、PTAの学習会、家庭教育学級などの学習資料・テキストとして活用できます。

目次紹介

Part I ・かんけい・って何？

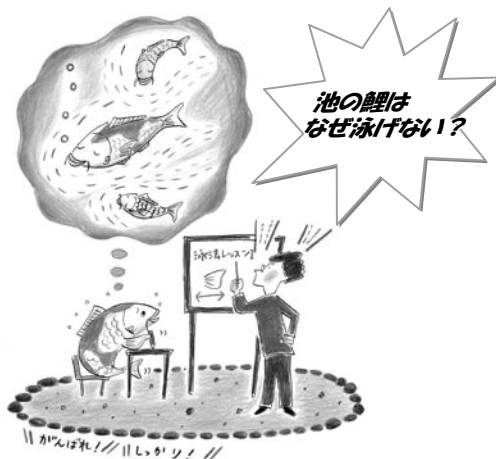
- イラスト・「かんけい」から見た、近ごろの「子ども」「おとな」「親子」
- 1-1 子どもの感情の発達と親子関係
 - 1-2 人間関係からみた子育ての現状と課題
- イラスト：池の鯉は、なぜ泳げない？

Part II 関係づくりの編みなおし

- 2-1 今、私たちに求められていること
 - 「関係」が見えるおとな・「関係」がつくれるおとなであるためには—
- 2-2 編みなおしへの試み
 - 事例1 「読みあい」から映し出される幸福の記憶
 - 事例2 ケアシェアされる関係が編みなおされる時
 - 事例3 水平な関係を紡ぎ出す「おばちゃんち」
- 2-3 子育て支援、学びの一步へ

COLUMN

「受容と共感」
 「子どもに寄り添う」とは
 「友達のいいところを見つけられない」
 「父親の子育て一支援・支えられの関係づくり」
 「おれが悪いんじゃない！だからあやまらない」
 「居場所づくりが編み出す関係」
 「つながりをつくる人の存在」



◇資料作成委員

田代 和美 大妻女子大学家政学部助教授 ※委員長
 安藤 節子 全国養護教諭連絡協議会会長
 岩川 直樹 埼玉大学教育学部教授
 大河原美以 東京学芸大学総合教育学科学系助教授
 小谷 博子 東京電機大学先端工学研究所研究員
 杉山 千佳 子育て環境研究所代表
 土堤内昭雄 榊ノッセイ基礎研究所主任研究員

*特別委員 村中 李衣 児童文学作家、梅光学院大学子ども学部教授

☆『むすんでひらいて 編みなおして』
 のダイジェスト版(A4判、4頁、カラー)を、
 ご希望の方に無料で差し上げます
 (但し、送料はご依頼者負担。送料100円/1部)。
 詳細は下記までお問合せください。

■問合せは 財団法人 日本女性学習財団 学習事業課 まで

TEL 03-3434-7575 / FAX 03-3434-8082 E-mail: jawe@nifty.com